

健感発0128第4号
平成28年1月28日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長
（公印省略）

抗インフルエンザウイルス薬の備蓄方針等について

新型インフルエンザ対策については、日頃よりご尽力いただきありがとうございます。

抗インフルエンザウイルス薬の備蓄方針については、「抗インフルエンザウイルス薬の追加備蓄の考え方等について」（平成21年1月16日付け健感発第0116001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知）及び「抗インフルエンザウイルス薬の備蓄の考え方等について」（平成25年3月11日付け健感発0311第11号厚生労働省健康局結核感染症課長通知）において、お示ししているところではありますが、今般、新型インフルエンザ等対策有識者会議において今後の備蓄方針について検討が行われ、新たな備蓄方針が取りまとめられたことを受け、備蓄薬剤、備蓄目標量等を変更することとしました。

新たな備蓄方針等については下記のとおりですので、各都道府県におきましてはご理解のうえ、引き続き新型インフルエンザ対策を推進していただくようお願いいたします。

記

1. 備蓄薬剤、備蓄目標量の変更について

備蓄薬剤は、既存のタミフル、リレンザの他、タミフルドライシロップ、ラピアクタ及びイナビルとする。

備蓄目標量は、従来どおり国民の45%に相当する量とするが、直近の人口統計（総務省住民基本台帳に基づく人口（平成27年1月1日現在））及び今後の人口変動を鑑み、5,650万人分とする。備蓄目標量から流通備蓄1,000万人分を除いた量を国及び都道府県で均等に備蓄することとし、各薬剤の備蓄目標量は別表のとおりとする。

P2上段

なお、人口比を基準とした都道府県別の備蓄目標量については、別紙1のとおりであるので、今後の備蓄を進めるに当たっての目安とされたい。

(別表) 各薬剤の備蓄目標量

	タミフル		リレンザ	イナビル	ラピアクタ	合計
	カプセル	ドライシロップ				
国備蓄分	605 万人分	325 万人分	349 万人分	930 万人分	116 万人分	2,325 万人分
都道府県 備蓄分	605 万人分	325 万人分	349 万人分	930 万人分	116 万人分	2,325 万人分
流通備蓄 分	260 万人分	140 万人分	150 万人分	400 万人分	50 万人分	1,000 万人分
合計	1,470 万人分	790 万人分	848 万人分	2,260 万人分	282 万人分	5,650 万人分

2. 備蓄薬剤切り替えの優先順位について

季節性インフルエンザの治療において、小児を中心に使用されているタミフルドライシロップは迅速に備蓄を開始する。また、新型インフルエンザが発生した場合、重症患者等に使用されることが想定されるラピアクタは優先的に備蓄を開始する。イナビルについては、既存の備蓄薬の有効期限切れになる時期を勘案しながら、順次切り替えを行う。

3. 財政措置について

優先的に備蓄が必要なタミフルドライシロップ及びラピアクタについて、備蓄目標量や製造所要期間、市場流通量等を勘案した結果、国及び都道府県において最低限備蓄すべき量は、それぞれタミフルドライシロップ55万人分、ラピアクタ95万人分とした。

国においては、平成27年度補正予算(約31億円)で購入することとしているが、都道府県においては、国と同量の購入経費(平成18年度購入分の廃棄費用を含む)について、平成28年度に地方財政措置が講じられる予定であるので、両薬剤を確保できるよう対応されたい。

P 5

なお、両薬剤を確保するにあたり、人口比を基準とした都道府県別の備蓄目標量については、別紙2のとおりであるので、目安とされたい。

※タミフルドライシロップの幼児1人当たり治療量は12g(平均体重18kg)としている。

※タミフルドライシロップ及びラピアクタの最低限備蓄すべき量は、以下

の考え方より算出した。

新型インフルエンザが流行した場合、現在備蓄を行っていない両薬剤は、製薬会社で増産する必要があるが、製造には相当期間を要する。よって、その間の使用想定量を予め備蓄する必要がある。ただし、市場流通分及び流通備蓄分は直ちに使用できるため、それらを差し引いた量とする。

なお、製造完了までの間の使用想定量は、各薬剤の備蓄目標量、2009年の新型インフルエンザ流行期間等から算出した。

最低限備蓄すべき量＝製造完了までの間の使用想定量－（市場流通量＋流通備蓄量）

・タミフルドライシロップ

396万人分－287万人分＝110万人分

国、都道府県の備蓄量はそれぞれ55万人分

・ラピアクタ

283万人分－93万人分＝190万人分

国、都道府県の備蓄量はそれぞれ95万人分

（参考）都道府県に対する地方財政措置状況（平成19年度以降）

	タミフル		リレンザ	イナビル	ラピアクタ	合計
	カプセル	ドライシロップ				
平成19年度	525万人分	0	0	0	0	525万人分
平成21～23年度	1,330万人分	0	133万人分	0	0	1,463万人分
平成25～26年度	0	0	397万人分	0	0	397万人分
平成28年度	0	55万人分	0	0	95万人分	150万人分
合計	1,855万人分	55万人分	530万人分	0	95万人分	2,535万人分

4. 平成29年度以降の財政措置について

平成29年度以降の財政措置については、来年度お知らせする。

都道府県別抗インフルエンザウイルス薬備蓄目標量

(単位:千人分)

	抗インフル薬 備蓄目標総数	備蓄目標量					総務省住民基本 台帳に基づく人 口(参考)
		タミフル		リレンザ	イナビル	ラピアクタ	
		カプセル	ドライシロップ				
01 北海道	996.7	259.4	139.3	149.6	398.7	49.7	5,409
02 青森	248.6	64.7	34.8	37.3	99.4	12.4	1,349
03 岩手	238.7	62.1	33.4	35.8	95.5	11.9	1,295
04 宮城	426.2	110.9	59.6	64.0	170.4	21.3	2,312
05 秋田	194.0	50.5	27.1	29.1	77.6	9.7	1,053
06 山形	209.1	54.4	29.2	31.4	83.7	10.4	1,135
07 福島	360.3	93.7	50.4	54.1	144.1	18.0	1,955
08 茨城	540.2	140.6	75.5	81.1	216.1	26.9	2,931
09 栃木	363.5	94.6	50.8	54.6	145.4	18.1	1,973
10 群馬	363.0	94.5	50.7	54.5	145.2	18.1	1,970
11 埼玉	1,322.8	344.2	184.9	198.6	529.1	66.0	7,178
12 千葉	1,132.0	294.6	158.2	169.9	452.8	56.5	6,143
13 東京	2,373.5	617.6	331.8	356.3	949.4	118.4	12,880
14 神奈川	1,649.5	429.2	230.6	247.6	659.8	82.3	8,951
15 新潟	428.3	111.4	59.9	64.3	171.3	21.4	2,324
16 富山	197.8	51.5	27.6	29.7	79.1	9.9	1,073
17 石川	211.8	55.1	29.6	31.8	84.7	10.6	1,149
18 福井	146.0	38.0	20.4	21.9	58.4	7.3	792
19 山梨	155.2	40.4	21.7	23.3	62.1	7.7	842
20 長野	390.5	101.6	54.6	58.6	156.2	19.5	2,119
21 岐阜	376.7	98.0	52.7	56.5	150.7	18.8	2,044
22 静岡	684.6	178.1	95.7	102.8	273.8	34.2	3,715
23 愛知	1,344.8	349.9	188.0	201.9	537.9	67.1	7,297
24 三重	335.2	87.2	46.9	50.3	134.1	16.7	1,819
25 滋賀	257.7	67.0	36.0	38.7	103.1	12.9	1,398
26 京都	465.7	121.2	65.1	69.9	186.3	23.2	2,528
27 大阪	1,597.3	415.6	223.3	239.8	638.9	79.7	8,667
28 兵庫	1,021.5	265.8	142.8	153.3	408.6	51.0	5,543
29 奈良	255.2	66.4	35.7	38.3	102.1	12.7	1,385
30 和歌山	184.0	47.9	25.7	27.6	73.6	9.2	998
31 鳥取	106.8	27.8	14.9	16.0	42.8	5.3	580
32 島根	129.0	33.6	18.0	19.4	51.6	6.4	700
33 岡山	353.6	92.0	49.4	53.1	141.5	17.6	1,919
34 広島	521.5	135.7	72.9	78.3	208.6	26.0	2,830
35 山口	261.2	68.0	36.5	39.2	104.5	13.0	1,418
36 徳島	142.3	37.0	19.9	21.4	56.9	7.1	772
37 香川	183.8	47.8	25.7	27.6	73.5	9.2	997
38 愛媛	261.2	68.0	36.5	39.2	104.5	13.0	1,417
39 高知	137.1	35.7	19.2	20.6	54.8	6.8	744
40 福岡	933.1	242.8	130.4	140.1	373.2	46.6	5,063
41 佐賀	155.3	40.4	21.7	23.3	62.1	7.8	843
42 長崎	259.0	67.4	36.2	38.9	103.6	12.9	1,405
43 熊本	333.2	86.7	46.6	50.0	133.3	16.6	1,808
44 大分	217.7	56.6	30.4	32.7	87.1	10.9	1,181
45 宮崎	208.4	54.2	29.1	31.3	83.4	10.4	1,131
46 鹿児島	310.5	80.8	43.4	46.6	124.2	15.5	1,685
47 沖縄	266.0	69.2	37.2	39.9	106.4	13.3	1,443
計	23,250	6,050	3,250	3,490	9,300	1,160	126,163

(注)総務省 住民基本台帳に基づく人口(平成27年1月1日現在)参照

都道府県別抗インフルエンザウイルス薬備蓄目標量 (平成28年度)

(単位:千人分)

	抗インフル薬 備蓄目標総数			総務省住民基本 台帳に基づく人 口(参考)
		タミフル ドライシロップ	ラピアクタ	
01 北海道	64.3	23.6	40.7	5,409
02 青森	16.1	5.9	10.2	1,349
03 岩手	15.4	5.6	9.8	1,295
04 宮城	27.5	10.1	17.4	2,312
05 秋田	12.5	4.6	7.9	1,053
06 山形	13.4	4.9	8.5	1,135
07 福島	23.2	8.5	14.7	1,955
08 茨城	34.9	12.8	22.1	2,931
09 栃木	23.5	8.6	14.9	1,973
10 群馬	23.4	8.6	14.8	1,970
11 埼玉	85.3	31.3	54.0	7,178
12 千葉	73.1	26.8	46.3	6,143
13 東京	153.1	56.1	97.0	12,880
14 神奈川	106.4	39.0	67.4	8,951
15 新潟	27.6	10.1	17.5	2,324
16 富山	12.8	4.7	8.1	1,073
17 石川	13.7	5.0	8.7	1,149
18 福井	9.5	3.5	6.0	792
19 山梨	10.0	3.7	6.3	842
20 長野	25.2	9.2	16.0	2,119
21 岐阜	24.3	8.9	15.4	2,044
22 静岡	44.2	16.2	28.0	3,715
23 愛知	86.7	31.8	54.9	7,297
24 三重	21.6	7.9	13.7	1,819
25 滋賀	16.6	6.1	10.5	1,398
26 京都	30.0	11.0	19.0	2,528
27 大阪	103.1	37.8	65.3	8,667
28 兵庫	65.9	24.2	41.7	5,543
29 奈良	16.4	6.0	10.4	1,385
30 和歌山	11.9	4.4	7.5	998
31 鳥取	6.9	2.5	4.4	580
32 島根	8.4	3.1	5.3	700
33 岡山	22.8	8.4	14.4	1,919
34 広島	33.6	12.3	21.3	2,830
35 山口	16.9	6.2	10.7	1,418
36 徳島	9.2	3.4	5.8	772
37 香川	11.8	4.3	7.5	997
38 愛媛	16.9	6.2	10.7	1,417
39 高知	8.8	3.2	5.6	744
40 福岡	60.2	22.1	38.1	5,063
41 佐賀	10.0	3.7	6.3	843
42 長崎	16.7	6.1	10.6	1,405
43 熊本	21.5	7.9	13.6	1,808
44 大分	14.0	5.1	8.9	1,181
45 宮崎	13.4	4.9	8.5	1,131
46 鹿児島	20.0	7.3	12.7	1,685
47 沖縄	17.2	6.3	10.9	1,443
計	1,500	550	950	126,163

(注)総務省 住民基本台帳に基づく人口(平成27年1月1日現在)参照